

出雲市立第一中学校 第1学年 5組 国語科学習指導案

令和6年11月20日(水)5校時

授業者 藤原 隼

1 単元名

「テーマについての良さを考え、一つにまとめ発表しよう。」

～相手に伝わりやすい表現を考え、互いの発言を結びつけながら話す～

2 単元の目標

・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使うことができる。

[知識及び技能] (2)イ

・目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。

[思考力, 判断力, 表現力等] A(1)ア

・話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめることができる。

[思考力, 判断力, 表現力等] A(1)オ

・言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力, 人間性等」

3 本単元における言語活動

グループで、テーマについての良さを話し合い、一つにまとめ発表する。

(関連:[思考力, 判断力, 表現力等] A(2)イ)

4 単元設定の理由

(1) 生徒観

個人情報保護のため省略

(2) 教材観

- ・グループで話し合い、考えをまとめる本単元は自分の主張の根拠や聞き手に納得してもらうための資料を吟味するのに適した単元である。
- ・一つの話題についてグループで話し合いを行う学習活動は、相手に自分の考えをわかりやすく伝える方法を考えながら話したり、お互いの考えを深めたりする上で有効である。

(3) 指導観

- ・上記(1)の①を強みとして、話し合いの雰囲気作りを行い、話し合い活動により考えを深化させ、自分の言葉で表現させたい。
- ・上記(1)の②の課題については、語彙不足を克服するために教科書の『広がる言葉』を行い、語彙を増やす活動を行ってきた。本単元では「聞き手」を想定した活動を行わせたい。その上でグループ内での話し合いにおいては、なぜ自分がそう思ったのかを明確にすることの大切さや、聞き手にわかりやすく説明するためには話す速度や具体例など、何が大事になってくるのかを生徒に考えさせながら活動させたい。

5 教材

- ・ 「話し合いで理解を深めよう グループディスカッション」(東京書籍『新しい国語Ⅰ』 p193～198)
- ・ 「分類する・比較する」(東京書籍『新しい国語Ⅰ』 p226～229)

6 単元の評価基準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方を使っている。 (2)イ)	①目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア)。 ②「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。 (A(1)オ)	①話題や展開を捉え、互いの発言を結びつけながら話し合いを行うことに粘り強く取り組み、今までの学習を生かして、グループで良さをまとめようとしている。

7 指導計画と評価計画 (全6時間)

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1 ・ 2	○ 「比較・分類」を読み、比較と分類について学習する。 ○ 教科書を読み、話し合う際に気をつけることを確かめる。その他にもポイントはないか確認する。	[知識・技能①]	ワークシート
3	○ グループの話題を決める。 ○ 決めた話題について具体的な良さを書き出す。	[思考・判断・表現]①	ワークシート
4 本 時	○各自で考えた良さを班で持ち寄り、whiteboard を使い、話し合いをしながら整理を行う。	[思考・判断・表現]② [主体的に学習に取り組む態度]①	観察 ワークシート (タブレット)
5	○ 教科書に記載されていることや、その他にも必要なポイントなど、話し合いの進め方を確認する。 ○ 班で出た良さを、一言にまとめるために話し合いを行う。 ○ 話し合いでまとめた意見を、パワーポイントにまとめ、次回の発表の準備を行う。		観察 ワークシート (タブレット)
6	○ 前回にまとめた良さについて発表を行う。 ○ 学習を振り返り、学んだことやこれからの生活に生かしていきたいことをまとめる。		

8本時の学習

(1) 目標

話題や展開を捉えながら話し合いを行い、互いの発言を結びつけて考えることができる。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) 展開 (4/6時間)

学習活動	教師の支援と評価場面
<p>1 今日のみあてについて確認をする</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>紹介するものの良さを納得してもらえるように、話し合いのポイントを意識しながら、班で話し合おう。</p> </div> <p>2 話し合いの進め方を確認する。 ・教科書 p196 に書かれているポイントを確認する。次時には、班で出た意見をまとめていくことを確認する。</p> <p>3 前時に個人で考えた良さを、グループで出し合い、話し合いながら分類する。 ・四人一班。 ・テーマ (部活動、ゲーム、読書、SNS など) <話し合いの手順></p> <p>① 個人で考えたテーマについての良さを一人ずつ発表する。その際、いいと思った理由等を必ず言うようにする。</p> <p>② わからないこと、疑問に思ったことは、その人の発表が終わった後、質問をする。</p> <p>③ 全員の発表が終わったら、共通するものの分類を行う。付箋の色を分けながら、分類をしていく。話をして、整理をして新たに気づいた良さなどを追加しても良い。</p> <p>④ どこにもあてはまりそうにもないものや、分類が難しいものは、別にしておき、後回しにして話を進める。</p> <p>⑤ 色を分けた付箋をカテゴリーごとに分けてキーワードをつける。</p> <p>4 振り返りを行う。</p>	<p>・「みあて」の内容について全体で共有することで、学習の見直しをもたせる。</p> <p>・教科書を見ながら確認する。同時に、前時で学んだ話し合いのルールを確認する。</p> <p>・班は八班に分ける。</p> <p>・分類する際は、whiteboard の付箋機能を使用する。前時で、個人で作成した付箋を班でみながら、話し合っって分類を行う。分類する際は項目ごとに付箋の色を変える。</p> <p>・良さの発表、分類を二十分間で行い、キーワードをつける作業を十分間で行う。その際、キーワードをつける作業は次回も行うので、必ずしもこの時間内で終わらなくてもいいことを伝える。</p> <p>・持ち寄った意見が、良さと言えるのか意見が割れている場合、良さだと思った理由を相手に伝えるように助言を行う。聞き手は、それに対して納得できない場合は、否定をするのではなく、良さとは言えないと感じている理由を話し手に伝えさせる。話し手・聞き手お互いに自分の意見が相手にどうやったら伝わるのかを意識させながら話し合いを進める。</p> <p>・話し合いが滞っている場合、持ち寄った段階では出ていなかったが、話し合いをした上で良さだと感じるものが他にはなかったか、今出ている意見で、違うところにも分類できそうな意見はないかを考えさせる。</p> <p>・話し合いのルールや、学習した分類の仕方について意識しながら話し合いを行うことができたかワークシートに記入させる。</p>

(3) 本時の具体的な評価

	十分満足できると判断される 生徒の具体例 (A)	概ね満足できると判断される 生徒の具体例 (B)	努力を要する状況へ の手立て
思 判 表	班で出た他の人の意見を参考にしながら分類を行い、話し合いの中で新たに自分の意見を伝えている。	班で出た意見の共通点を探しながら、話し合いを行っている。	学習した話し合う際のポイントを確認しながら、どのように説明すれば相手に納得してもらえるのかを助言する。
具 体 の 姿	<p>・「〇〇と〇〇は△△なので、～というところに共通点があると思います。また、〇〇というのもこのグループに入れられそうだと思いますがどうでしょうか。</p> <p>(例)SNS について 『その場にいなくても会話ができる』や、『友達の輪を広げやすい』というのは、場所を問わなかったり、SNS上で友達を紹介できたりするので、『コミュニケーションを気軽に取ることができる』という共通点があると思います。 また、意見には出ていませんでしたが「共通の趣味の人を探しやすい」というのも気軽に会話できた結果、得られる情報だと思うので、この中に追加できそうですがどうですか。</p>	<p>〇〇と〇〇は△△なので、～というところに共通点があると思うので、～というグループに分類できると思います。</p> <p>(例)SNS について 『その場にいなくても会話ができる』や、『友達の輪を広げやすい』というのは、『コミュニケーションを気軽に取る場所を問わなかったり、SNS上で友達を紹介できたりすることができる』という共通点があると思います。</p>	